

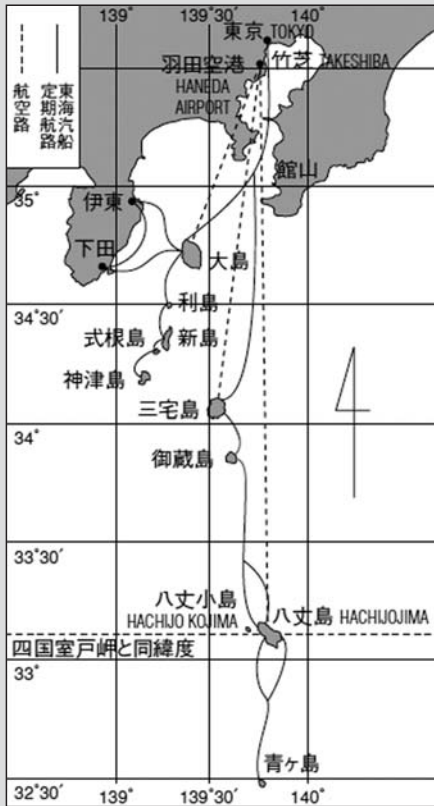


東京都八丈町勢要覧

ハ はちじょう 2011 資料編

HACHIJO 2011

■八丈島の位置



■八丈島の位置

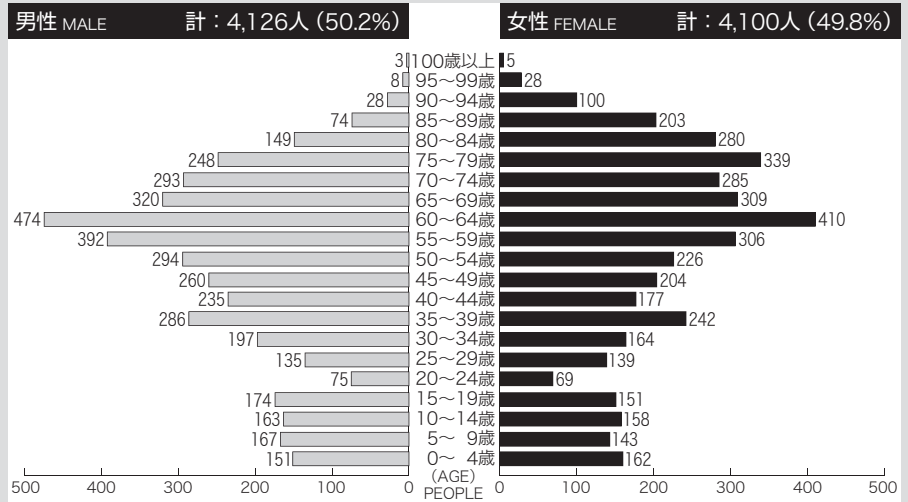
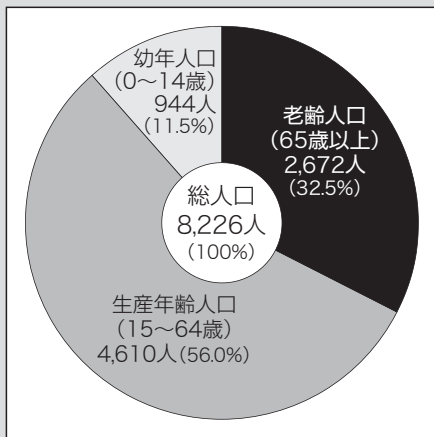
区分 地名	面積 AREA (km ²)	周囲 CIRCUM-FERENCE (km)	位置 LOCATION		東京からの距離 DISTANCE FROM TOKYO (km)	緯度比較 COMPARATIVE LATITUDE
			北緯 LATN	東経 LATE		
八丈島 HACHIJUJIMA	69.52	58.91	33°03'~ 33°09'	139°44'~ 139°52'	287	高知県 室戸岬 CAPE MUROTO KOCHI PREF.
八丈小島 HACHIUO KOJIMA	3.10	8.70	33°07'	139°41'		
計 TOTAL	72.62	67.61	-	-		

■気象概況

主要気象	八丈島 HACHIJUJIMA	東京 TOKYO	小笠原・父島 OGASAWARA(CHICHUJIMA)	備考 COMPARISON
年平均気温(°C) AVERAGE ANNUAL TENP.(°C)	17.8	16.3	23.2	那覇 23.1
最寒月平均気温(°C) AVG. TEMP. OF COLDEST MONTH(°C)	1月 JAN 10.1	1月 JAN 6.1	2月 FEB 17.9	那覇 17.0
日最高気温の最暖月平均値(°C) AVG. HIGH. HOTTEST DAY OF HOTTEST MONTH(°C)	8月 29.3	8月 31.1	7月 30.0	大阪 33.4
日最低気温の最寒月平均値(°C) AVG. LOW. COLDEST DAY OF COLDEST MONTH(°C)	1,2月 JAN, FEB 7.5	1月 JAN 2.5	2月 FEB 15.3	
年降水量(mm) ANNUAL PRECIPITATION (mm)	3,202.4	1,528.8	1,292.5	屋久島 4477.2 尾鷲 3848.8
年日照時間(時間) ANNUAL HOURS OF SUNSHINE (H)	1,398.5	1,881.3	2,038.5	潮岬 2201.2 山形新庄 1320.0
年平均湿度(%) ANNUAL AVERAGE HUMIDITY (%)	80	62	77	軽井沢 80
年強風日数(10m/s以上) DAYS/YEAR WITH WINDS≥10m/s	134.3	22.1	24.5	室戸岬 253.7
年強風日数(15m/s以上) DAYS/YEAR WITH WINDS≥15m/s	22.4	0.4	2.3	室戸岬 108.2

(注)①1981~2010年の30年間の平均
②八丈島測候所：北緯33°06' 東経139°47' 標高79.2m
③年強風日数において、10m/s以上の日数は15m/s以上の日数を含む。

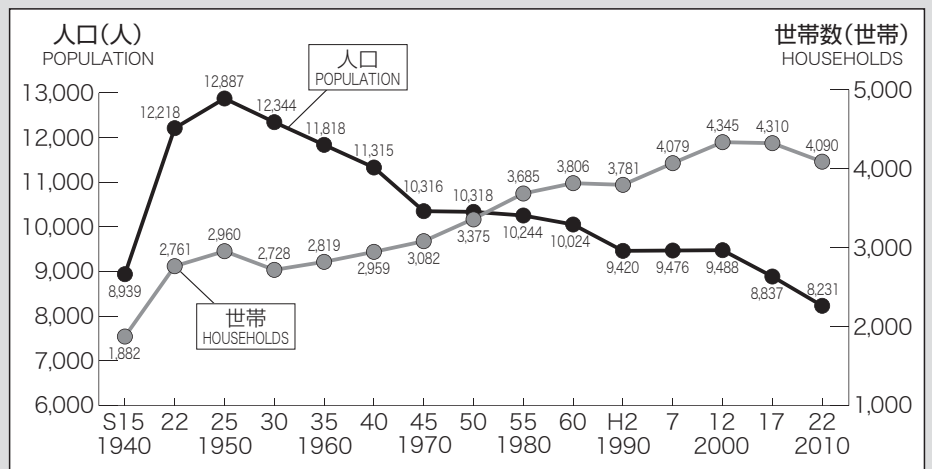
■年齢別人口構成 (平成23年1月1日)



■地域別世帯数と人口 (平成23年1月1日)

地域 DISTRICT	世帯数(世帯) HOUSEHOLDS	人口(人) POPULATION
三根 MITSUNE	2,091	3,771
大賀郷 OKAGO	1,523	2,716
檜立 KASHITATE	308	559
中之郷 NAKANOGO	400	777
末吉 SUEYOSHI	226	403
計 TOTAL	4,548	8,226
八丈島における 外国人登録者数 REGISTERED FOREIGNERS	111人	

■人口・世帯数の推移 (平成22年国勢調査)

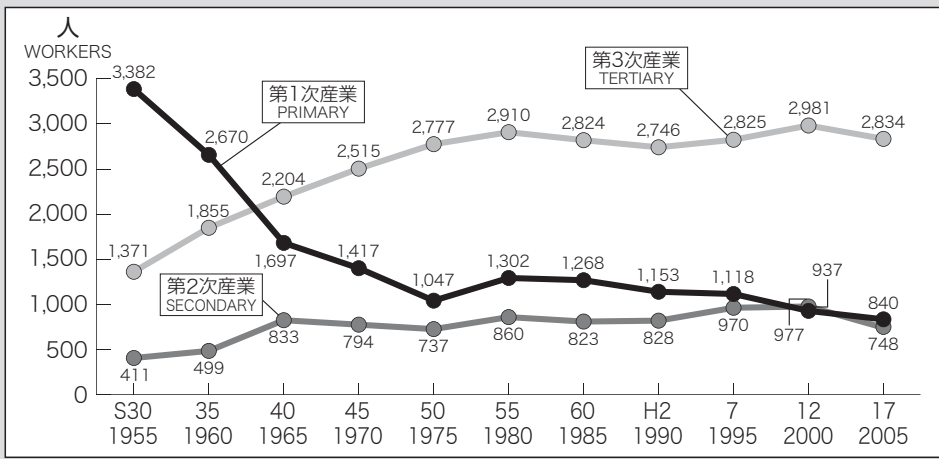


■産業別就業者数（平成17年国勢調査） ※平成22年国勢調査未公表

就業者数/EMPLOYED：4,429人 15歳以上人口/PEOPLE 15 OR OLDER：7,718人 労働力人口/LABOR FORCE：4,714人

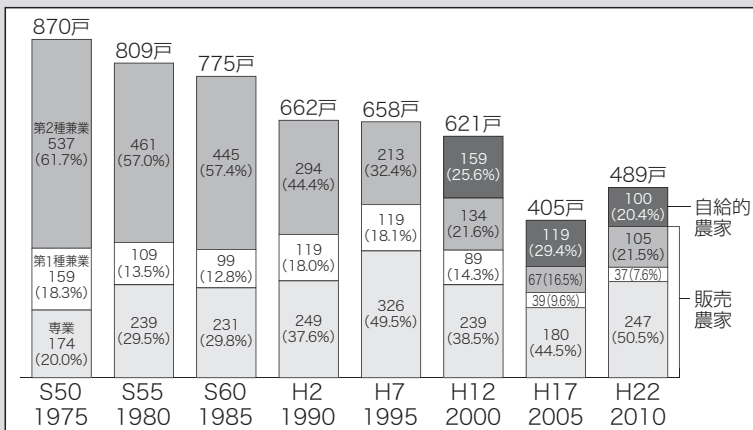
第1次産業 PRIMARY INDUSTRY WORKERS 840人 (19.0%)		第2次産業 SECONDARY INDUSTRY WORKERS 748人 (16.9%)		第3次産業 TERTIARY INDUSTRY WORKERS 2,834人 (63.9%)										
農業 708人 (16.0%)	漁業 128人 (2.9%)	建設業 602人 (13.6%)	林業 4人 (0.1%)	卸・小売業 518人 (11.7%)	製造業 146人 (3.3%)	運輸業 207人 (4.7%)	飲食店・宿泊業 476人 (10.7%)	サービス業 478人 (10.8%)	医療・福祉 330人 (7.4%)	情報通信業 22人 (0.5%)	教育・学習支援業 269人 (6.1%)	公務 324人 (7.3%)	その他 210人 (4.7%)	分類不能 7人 (0.2%)

■産業別就業者の推移（平成17年国勢調査） ※平成22年国勢調査未公表

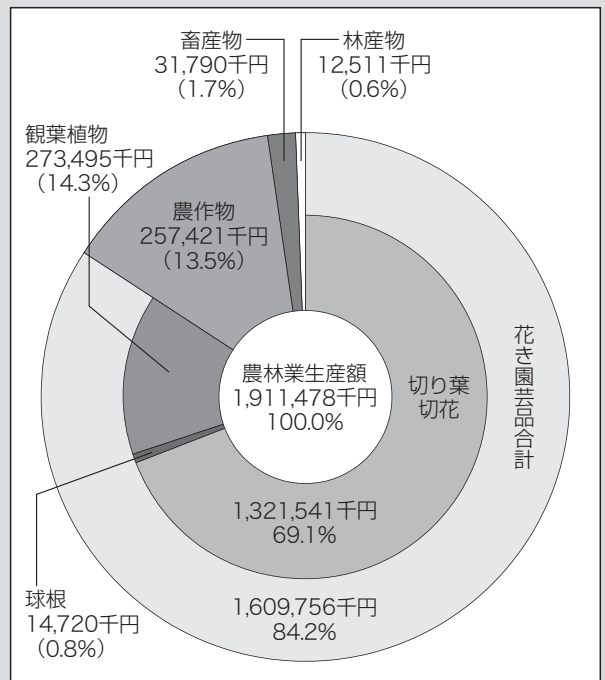


農業 AGRICULTURE

■農家数の推移（農林業センサス）



■農林業生産額（平成22年1月～12月）



■経営耕地・作物別作付面積（平成23年1月1日）

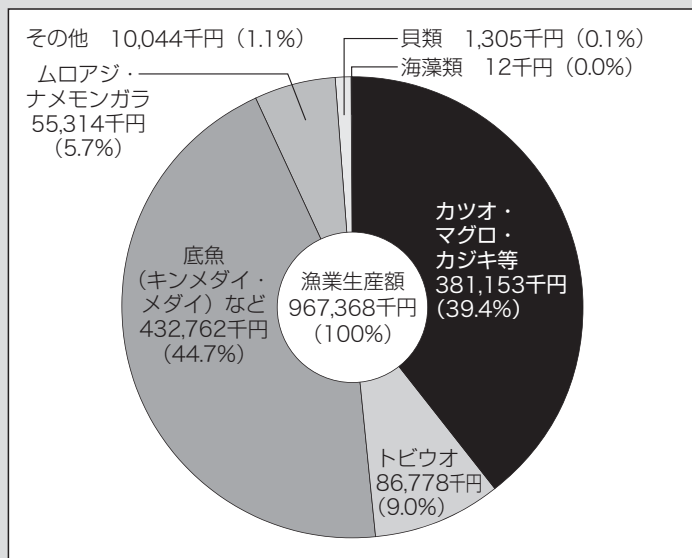
作物	面積 (ha)	割合 (%)	分類
フェニックスロベニー	213	56.5%	花き園芸
ストレッチア	9	2.4%	
球根類	1	0.3%	
その他の花き	40	10.6%	
あしたば	39	10.3%	その他農作物
野菜・イモ	47	12.5%	
飼料作物	28	7.4%	
計	377	100%	100%

漁業 FISHERY

■種類別漁獲高 (平成22年1月～12月)

	漁獲量(kg)	金額(千円)	平均単価(円)	金額比率(%)
トビウオ (流刺網・流まき網)	303,015	86,778	286	9.0%
ムロアジ・ ナメモンガラ (棒受網)	229,873	55,314	241	5.7%
カツオ マグロ カジキ等 (曳縄)	582,058	381,153	655	39.4%
底魚等 (一本釣)	419,491	432,762	1,032	44.7%
テングサ等 (潜水)	11	12	1,091	0.0%
トコブシ等 (潜水)	268	1,305	4,869	0.1%
その他	6,774	10,044	1,483	1.1%
合計	1,541,490	967,368	628	100%

■漁業生産額 (平成22年1月～12月)



■魚種別漁獲量順位 (平成22年1月～12月)

順位	種名	漁獲量(kg)
1	カツオ類	476,181
2	トビウオ類	303,015
3	キンメダイ	259,858
4	ムロアジ	223,555
5	マグロ類	86,827
6	メダイ	84,785
7	ハマダイ	17,316
8	ヒメダイ	15,703
9	アオダイ	14,085
10	カジキ類	9,640

■漁船数 (平成22年12月31日)

3トン未満	59隻
3トン～10トン未満	76隻
10トン～20トン未満	20隻
20トン以上	0隻
合計	155隻

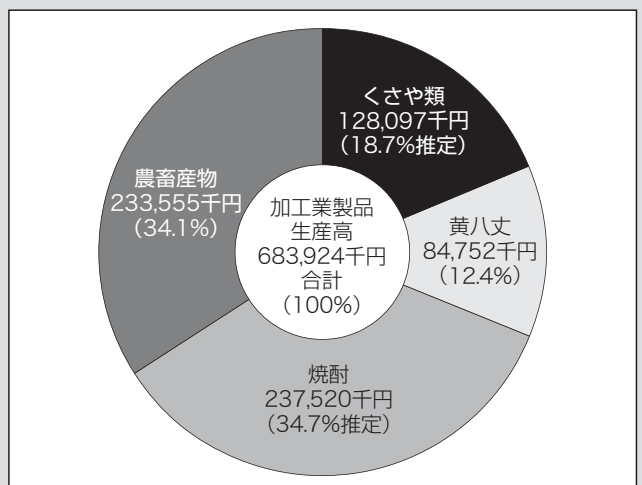
※官公庁船を除く

商業
COMMERCE &
MANUFACTURING INDUSTRY

■漁港の状況 (平成23年4月1日)

区分 漁港名	種別	指定日 管理者	対象 船舶	漁港施設
神湊漁港	第4種	昭26.7.10 東京都	20t	防波堤 568m 照明施設一式 岸壁 921m 船揚場 5,394㎡
八重根漁港	第4種	昭26.7.10 東京都	20t	防波堤 685m 照明施設一式 岸壁 752m 船揚場 4,455㎡
中之郷漁港	第1種	昭27.6.23 東京都	20t	防波堤 251m 照明施設一式 岸壁 105m 船揚場 3,748㎡
洞輪沢漁港	第1種	昭27.6.23 東京都	20t	防波堤 577m 照明施設一式 岸壁 229m 船揚場 3,315㎡

■加工業製品生産調べ (平成22年1月～12月)



※農畜産物には主要アシタバ加工業者の生産額を含む

観光 SIGHTSEEING

■主な行事（平成22年）

パブリックロードレース……………1月
 ヘルシーフェスタ……………1月～2月
 フィッシングチャレンジカップ…3月
 フリージアまつり……………3月～4月
 マリンフェスティバル……3月～9月
 夏まつり……………7月
 タコスカップ……………8月
 納涼花火大会……………8月
 海遊魚まつり……………9月～11月

■宿泊施設（平成23年1月）

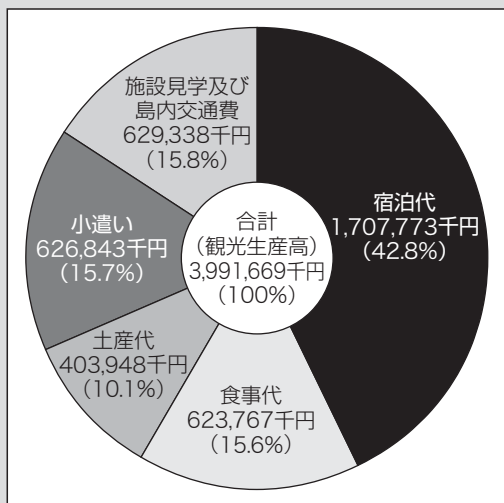
（休業中は含まず）

区分 CLASS	ホテル・旅館 HOTEL/RYOKAN		民宿・ペンション MINSYUKU(INNS)/PENSIONE		合計 TOTALS		キャンプ場 CAMPGROUNDS	
	軒数 NO.	登録定員 CAPACITY	軒数 NO.	登録定員 CAPACITY	軒数 NO.	登録定員 CAPACITY	軒数 NO.	登録定員 CAPACITY
三根 MITSUNE	6	405	32	865	38	1,270	1	80
大賀郷 OKAGO	9	452	30	564	39	1,016		
榎立 KASHITATE			1	4	1	4		
中之郷 NAKANOGO			5	157	5	157		
末吉 SUEYOSHI			5	82	5	82		
計 TOTALS	15	857	73	1,672	88	2,529	1	80

ホテル	1泊2食付	14,000円くらいから	旅館	1泊2食付	9,000円くらいから
ペンション	1泊2食付	10,000円くらいから	民宿	1泊2食付	8,000円くらいから

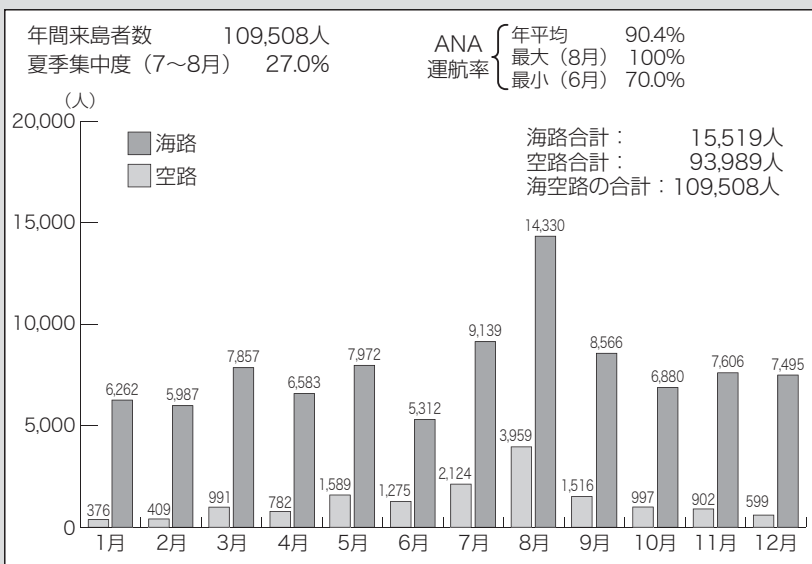
■観光客消費額推計

（平成22年1月～12月）

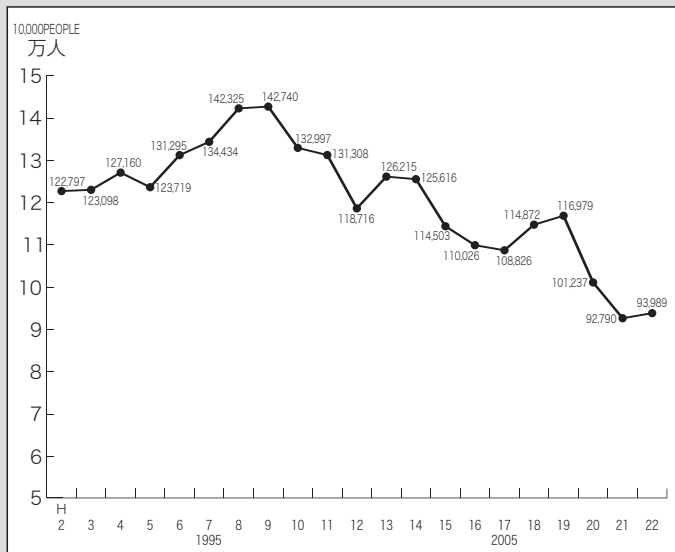


■航路別来島者数の月別推移

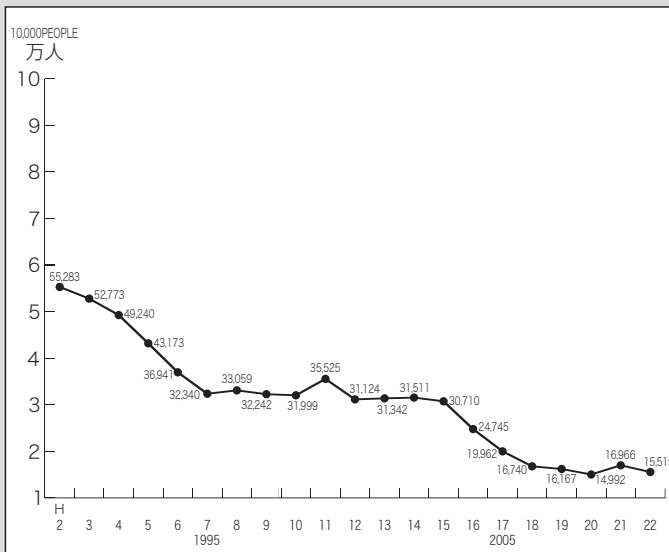
（平成22年1月～12月）



■空路便来島者数の推移



■航路別来島者数の月別推移

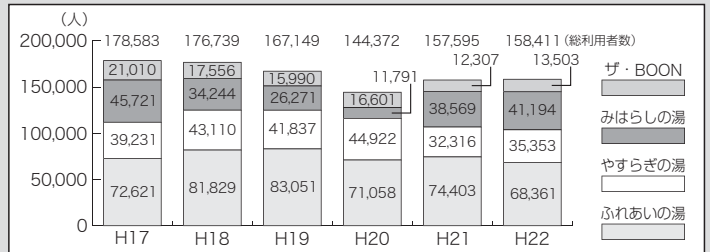


保健 HEALTH

■医療機関などの施設状況 (平成23年4月1日)

病院：町立病院	1箇所	
：保健所	1箇所	
：診療所	3箇所	
：歯科診療所	6箇所	
：施術所	・あんまマッサージ	5箇所
	・指圧師	
	・はり師	
	・柔道整復師	
：薬局	2箇所	
：薬種商	0箇所	
：医薬品特例販売店	11箇所	
：歯科技工所	2箇所	

■温泉利用者数 (平成22年度)



※みはらしの湯 平成18年6～8月休業 平成19年10月～平成20年11月休業
 ※ふれあいの湯 平成20年8月～9月休業

■集団検診数 (平成22年度)

胃がん検診	418人
肺がん検診	808人
大腸がん検診	512人
子宮がん検診	191人
乳がん検診	175人
特定健康、健康診査(長寿・住民)	835人
骨粗鬆症(こつそしょうしょう)検診	377人
計	3,316人

福祉 WELFARE

■高齢人口

(平成23年4月1日)

65歳以上	2,657人		
高齢人口比率	八丈島	東京 (H22.9.15)	全国
	32.8%	20.4%	23.2%

■高齢者祝金の状況

(平成22年度)

	人数	金額
90歳祝金	38人	760,000円
100歳祝金	1人	100,000円

■児童手当支給状況 (平成22年度)

	児童手当	児童育成手当
受給対象児童数(のべ人数)	1,164	1,973
支給金額(円)	7,980,000	26,757,500

■介護保険

要介護認定者数

(平成23年4月1日)

要介護度	人数
要支援1	75人
要支援2	46人
経過的要介護	0人
要介護1	91人
要介護2	71人
要介護3	64人
要介護4	63人
要介護5	90人
合計	500人

■社会福祉協議会の状況 (平成23年4月1日)

会員数	2,532件	
事業予算	10,982万円	
内訳	一般会計	10,831万円
	応急小口資金特別会計	101万円
	歳末たすけあい特別会計	50万円

■保育園状況 (平23年4月1日)

施設数	4箇所	
定員	422人	
実員	227人	
措置率	53.79%	
職員数	34人(保育士 26人・調理員 8人)	
事業費	2億4275万4千円	
	国費	0千円
	都費	45,114千円
	町費	145,370千円
	住民負担	47,923千円
	その他	4,347千円

■生活保護扶助別実施状況 (平成22年度)

世帯数(世帯)	154世帯	区別	生活	住宅	教育	介護	医療	生業	葬祭	出産	計
人員(人)	191人	金額(千円)	92,164	31,031	583	471	3,962	184	84	0	128,479千円

障害者手帳交付状況
(障害の重複あり) (平成23年4月1日)

視覚障害	38人
聴覚障害	20人
音声言語障害	10人
肢体不自由	187人
内部障害	105人
その他	1人
計	361人

愛の手帳交付状況
(平成23年4月1日)

18歳未満	3人
18歳以上	45人
計	48人

精神障害者保健福祉手帳交付状況
(平成23年4月1日)

交付数	59人
-----	-----

ホームヘルパー派遣状況
(平成23年■月■日)

ホームヘルパー数(臨時ヘルパー含む)	■名
派遣世帯数(のべ)	■世帯
派遣時間(のべ)	■時間

老人クラブの状況
(平成23年4月1日)

クラブ数	20クラブ
会員数(人)	1,135人
クラブ助成金額	6,092,000円

後期高齢者医療被保険者証交付状況
(平成23年4月1日)

後期高齢者医療被保険者数	1,428人
--------------	--------

国民年金加入状況
(平成23年4月1日)

被保険者数	2,097人
第1号被保険者数	1,664人
第3号被保険者数	380人
任意加入被保険者数	53人

国民年金受給権者数 (平成23年4月1日)

老齢基礎年金	2,037人
老齢年金(旧)	406人
通算老齢年金(旧)	63人
障害基礎年金	142人
遺族基礎年金	12人
障害年金(旧)	8人
寡婦年金	5人
福祉年金の受給権者数	3人
特別障害給付金	1人

国保加入者数と平均保険税額 (平成23年4月1日)

加入者数		平均保険税収額(医療分)	
世帯数(世帯)	被保険者(人)	一世帯あたり	一人あたり
2,374	4,069	74,453	45,323

国保保険給付費支払状況 (平成22年度)

高額療養費		出産育児給付		葬祭費	
一般被保険者分	退職者被保険者分	件数	金額	件数	金額
102,163,501円	2,182,323円	18件	7,560,000円	30件	1,500,000円

福祉 WELFARE

町立八丈病院のべ患者数 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

単位：人

区分	総数 (単位：人)	一般診療					臨時診療										
		内科	外科	産婦人科	小児科	耳鼻咽喉科	皮膚科	整形外科	精神神経科	内分泌内科	消化器内科	糖尿病内科	腎臓内科	神経内科	循環器内科	眼科	泌尿器科
入院(人)	10,187	8,241	1,298	413	235												
外来(人)	50,999	17,466	11,992	1,274	7,925	988	1,290	864	2,979	380	176	2,041	393	194	220	2,448	369

後期高齢者医療給付の状況 (平成22年度)

単位：円

区分	受診件数	受診日数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付等(A)	17,505	38,275	830,309,538	752,298,162	78,011,376	0
内訳	入院	889	13,002	388,450,840		
	入院外	11,246	19,637	336,760,770		
	歯科	2,664	5,636	37,462,750		
	調剤	2,703		46,769,190		
	食事療養	[806]		20,687,338		
訪問看護	3		178,650			
療養費等(B)	124		1,636,416	1,461,268	175,148	0
合計(A+B)	17,629		831,945,954	753,759,430	78,186,524	0

国保医療給付の状況(一般被保険者分) (平成22年度)

単位：円

区分	受診件数	受診日数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付等(A)	29,351	56,315	975,093,988	705,325,045	236,828,627	32,940,316
内訳	入院	865	11,894	393,793,900		
	入院外	17,428	28,641	426,743,760		
	歯科	8,017	15,780	85,961,290		
	調剤	3,041	[3,657枚]	48,369,650		
	食事療養	[775]	[30,075回]	20,225,388		
訪問看護	0	0	0			
療養費等(B)	362		2,717,800	2,016,920	610,101	90,779
合計(A+B)	29,713		977,811,788	707,341,965	237,438,728	33,031,095

国保医療給付の状況(退職被保険者分) (平成22年度)

単位：円

区分	受診件数	受診日数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付等(A)	1,493	2,383	41,154,598	28,780,533	11,895,485	478,580
内訳	入院	28	242	12,005,420		
	入院外	878	1,285	21,429,750		
	歯科	407	856	4,638,760		
	調剤	180	[196枚]	2,743,890		
	食事療養	[25]	[512回]	336,778		
訪問看護	0	0	0			
療養費等(B)	33		188,889	132,219	56,670	0
合計(A+B)	1,526		41,343,487	28,912,752	11,952,155	478,580

■環境衛生施設数 (平成23年4月1日)

区 分	許可件数
総 数	221件
理 容 所	12件
美 容 所	17件
ク リ ー ニ ン グ 所	5件
公 衆 浴 場	7件
ホ テ ル・旅 館・民 宿 等	91件
興 行 場	1件
プ ー ル (学 校 プ ー ル 含 む)	14件
水 道 施 設	18件
小 規 模 貯 水 槽 水 道 等	35件
温 泉 利 用 施 設	10件
墓 地 な ど	6件
特 定 建 築 物 (のべ床面積3,001㎡以上)	5件

■火葬・改葬 (平成22年度)

火 葬	132件
改 葬	8件
計	140件

■水道事業 (平成22年度)

	坂上下水道	坂上簡易水道	全 体
給水人口	6,396人	1,655人	8,051人
普及率	100%	94.2%	99.4%

水源取水能力	表 流 水	2,030㎥/日	0㎥/日	2,030㎥/日
	地 下 水	4,230㎥/日	0㎥/日	4,230㎥/日
	湧 水	1,760㎥/日	2,150㎥/日	3,910㎥/日
	計	8,020㎥/日	2,150㎥/日	10,170㎥/日

有収水量	年間有収水量	1,094,594㎥	250,473㎥	1,345,067㎥
	月平均有収水量	91,216㎥	20,873㎥	112,089㎥
	1日平均有収水量	2,999㎥	686㎥	3,685㎥
	1日1人当たり	462ℓ	404ℓ	450ℓ

料 金	年間料金(円)	238,400,820	51,318,285	289,719,105
	月平均料金(円)	19,866,735	4,276,524	24,143,259
	1人月平均料金(円)	3,060	2,520	2,948
	給水栓数	5,041栓	1,361栓	6,402栓

■ゴミ処理取扱量 (平成22年度)

施設：機械バッチ燃焼式焼却炉
処理能力 1日 17.00トン (8時間運転×2炉)
焼却処理総量 3,165.15トン

町処理収集量		持ち込み処理量	
①燃えるゴミ	2,307.61トン	①燃えるゴミ	857.54トン
②空き缶	41.02トン	②空き缶	4.92トン
③空き瓶	80.97トン	③空き瓶	45.81トン
④金属ゴミ	53.40トン	④金属ゴミ	97.71トン
⑤有害ゴミ	2.43トン	⑤有害ゴミ	1.24トン
⑥発泡スチロール	0トン	⑥発泡スチロール	0.99トン
小 計	2,485.43トン	小 計	1,008.21トン
総処理量 3,493.64トン			

■家庭用生ゴミ堆肥化容器貸与実績 (平成22年度)

130ℓ	26件
200ℓ	118件
計	144件

■し尿汲取量 (平成22年度)

総 量	8,129㎏ℓ
一 般	7,219㎏ℓ
公共施設	910㎏ℓ
特別施設	0㎏ℓ
一 般 汲 取 件 数	3,185件
公 共 汲 取 件 数	283件

■水道料金 (平成23年4月1日)

口径 (mm)	装置料金 (円)	水道料金			
		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
13	380	110円/㎥	145円/㎥	230円/㎥	275円/㎥
20	450				
25	460	335円/㎥	375円/㎥	390円/㎥	400円/㎥
30	550				
40	590				
50	1,530	390円/㎥	400円/㎥	415円/㎥	435円/㎥
65	1,660				
75	1,900				
100	2,270	480円/㎥			
工事ならびに 臨時用	5,800	480円/㎥			

■小・中学校の状況 (平成23年5月1日)

小学校4校	児童数：362人
	学級数：23学級 うち通級指導学級1学級
	教員数：58人
中学校3校	児童数：201人
	学級数：11学級 うち通級指導学級1学級
	教員数：48人

■学校施設の現況 (平成23年5月1日)

学校名	構造	面積㎡	教室数		校地面積/㎡		付属建物/㎡
			普通	特別	建物敷地	運動場	
三根小学校	RC3階建	4,019	9	13	6,946	9,102 (芝生5,900含む)	体育館RC=1,088 倉庫S=22
大賀郷小学校	RC3階建 CB W	2,640 19 6	6	11	5,553	5,798	体育館RC=790 倉庫CB=20 地域・学校連携施設RC=148
三原小学校	RC2階建	2,223	6	10	5,975	2,436 (芝生2,436)	体育館RC=695 倉庫S=22
末吉小学校	RC平屋建	1,625	6	6	6,289	4,425	体育館RC=650 倉庫CB=38 地域・学校連携施設RC=158
小学校計	—	10,532	27	40	24,763	21,761	体育館RC=3,223 倉庫CB=58 地域・学校連携施設RC=306
富士中学校	RC2階建 CB	2,226 6	4	12	7,958	15,894	体育館RC=743 倉庫CB=40
大賀郷中学校	RC2階建 RC平屋	2,008 63	5	8	9,942	6,800	体育館RC=848 倉庫CB=60 地域・学校連携施設RC=150
三原中学校	RC2階建	2,269	3	10	6,135	8,739 (芝生2,731含む)	体育館RC=800 倉庫S=116
中学校計	—	6,572	12	30	24,035	31,433	体育館RC=2,391 倉庫CB=100 倉庫S=116 地域・学校連携施設RC=150
小中学校計	—	17,104	39	70	48,798	53,194	体育館RC=5,614 倉庫CB=158 倉庫S=116 地域・学校連携施設RC=456

(RC=鉄筋コンクリート、CB=コンクリートブロック、S=鉄骨、W=木造)

■婦人会状況 (平成23年4月1日)

	総数	三根	大賀郷	榎立	中之郷	末吉
婦人会員数	609	309	88	55	88	69

■英会話教室 (平成22年度)

25クラス	192人
-------	------

■高等学校の状況 (平成23年5月1日)

生徒数	全日制	203人	定時制	12人
教員・職員数	60人			
卒業生数	71人 (全日制69人・定時制2人)			

卒業後の進路

大学短大進学者	34人 (定時制 0人)	(48%)
専門学校等	16人 (定時制 0人)	(23%)
就職進学	0人 (定時制 0人)	(0%)
就職	17人 (定時制 1人)	(24%)
その他	4人 (定時制 1人)	(6%)
計	71人 (定時制 2人)	(100%)

■共同調理場方式完全給食 (平成22年度)

区分	給食数 (1日)	給食 予定日数 (うち米飯週3回)	給食費用単価 (1食あたり)			
			小学校			中学校
			低学年	中学年	高学年	
八丈町	678	192日	224.41円	241.52円	267.76円	314.97円

区分	平均月額給食費 (1ヶ月)			
	小学校			中学校
	低学年	中学年	高学年	
八丈町	3,875円	4,170円	4,624円	5,440円

■学校給食の状況 (平成23年4月)

小学校	4校	児童数	362名
中学校	3校	児童数	201名
計	7校	計	563名
教職員ほか			108名
給食人員計			671名

■図書館利用状況 (平成22年度)

開館日数		272日	
利用者数	総数		17,359人
	内訳	一般	12,233人
		児童	5,126人
1日平均利用者数		64人	
蔵書数		25,066冊	
視聴覚ライブラリー	ビデオ保有数	889巻	
	DVD保有数	490枚	

■文化財など (平成23年4月1日)

	国指定分	都指定分	町指定分	計
天然記念物	1		7	8
有形文化財	1	21	41	63
無形文化財		0		0
無形民俗文化財		3		3
史跡・旧跡		6	2	8
計	2	30	50	82

天然記念物のうち、地域を定めないで指定されているもの
ヘゴ自生北限地帯、アカコッコ、カラスバト、イイジママシクイ、カムムリウミスズメ、オカヤドカリ

■公民館施設状況 (平成23年4月1日)

公民館名	地番	電話	完成年度	延床面積	収容人員	概 要
三 根	347	2-2330	昭和46年度	560㎡	120	集会室 200㎡・実習室 23㎡ 図書室 33㎡・会議室 (和) 65㎡・その他 239㎡
大 賀 郷	3060	2-0963	昭和59年度	746㎡	130	集会室 253㎡・実習室 60㎡ 図書室 30㎡・会議室 (和) 75㎡・その他 328㎡
檜 立	2027	7-0003	昭和50年度	590㎡	120	集会室 198㎡・実習室 22㎡ 図書室 22㎡・会議室 (和) 99㎡・その他 249㎡
中 之 郷	2613	7-0002	昭和48年度	564㎡	120	集会室 201㎡・実習室 24㎡ 図書室 24㎡・会議室 (和) 94㎡・その他 221㎡
末 吉	633	8-1003	昭和53年度	614㎡	130	集会室 242㎡・実習室 26㎡ 図書室 20㎡・会議室 (和) 97㎡・その他 229㎡

■体育施設状況 (平成23年4月1日)

施設名	完成年度	面積	構造	概 要
八 丈 町 野 球 場	昭和63年度	12,521㎡	内野：混合土 外野：砂入り人工芝 外周：珉発土	バックネット：H=10m, L=32m ファウルボール：H=10m ダックアウト：鉄骨造 投球練習場：1塁側・3塁側各2組 スコアボード：メインスタンド 防球ネット：1塁側 H10m, 3塁側・ライト側 H7m
八丈町富士ゲート ポ ー ル 場	平成2年度	4,483㎡	透水性砂入り人工芝	休憩所：平屋鉄筋コンクリート造 49.5㎡ 駐車場：セメント安定処理
富 士 運 動 場	平成2年度	15,849㎡	クレー	夜間照明
三 原 運 動 場	平成4年度	12,199㎡	クレー	夜間照明
末 吉 運 動 場	平成15年度	4,425㎡	クレー	夜間照明
ボウリング場	昭和46年度 (平成16年度町へ移管)	347㎡		4レーン
体 育 館	昭和46年度 (平成16年度町へ移管)	599㎡	砂入り人工芝	コート425㎡
テニスコート	平成7年度 (平成16年度町へ移管)	1,838㎡	全天候透水性舗装	コート2面
檜立屋内運動場	平成19年度 (平成19年度所管替)	650㎡	体育館	
檜立運動場	平成19年度 (平成19年度所管替)	4,450㎡	クレー	
中之郷屋内運動場	平成19年度 (平成19年度所管替)	650㎡	体育館	
中之郷運動場	平成19年度 (平成19年度所管替)	5,557㎡	クレー	
八 丈 町 南原スポーツ公園	平成19年度	19,200㎡	天然芝 (野芝)	サッカーコートサイズ (縦105m×横68m×2面) 管理棟 (平屋建・コンクリート造：面積315.90㎡)

■スポーツ・文化活動の状況 (平成22年度)

①スポーツ

区 分	活動状況
野 球	一般軟式リーグ/242人 (11チーム)：OB (春・秋大会開催)・早朝 (リーグ戦開催) 少年/84人：少年学童・二部 (春・秋大会開催)
バレーボール	一般/132人 (12チーム)：春・秋リーグ戦開催
サ ッ カ ー	一般：児童/255人 (春・夏・秋・冬リーグ戦、島外チームとの交流大会、ジュニアユース大会等)
バスケットボール	一般/30人 (4チーム)：春・秋リーグ戦開催
卓 球	一般/80人：浅葉杯等各種大会開催 児童/15人
武 道	柔道/85人：武道大会等開催 剣道/65人
テ ニ ス	硬式/50人：各種大会開催
ソフトボール	産振研ソフトボール大会、商工会ソフトボール大会
マ ラ ソ ン	走友会、八丈島駅伝大会、パブリックロードレース
町民体育大会	島内5地域で実施
ゲートボール	島内各地域愛好者/120人

②文化活動

八 丈 島 サマーコンサート	子供のためのコンサート (昼の部)、記念コンサート (夜の部) 出演者：牟田久壽、小森谷巧、山下尚子、三谷温
八丈島民大講堂	「新しい八丈島の楽しみ方～自然ソングの視点から」 大学教授：菊地俊夫 「体験 “ころぼん体操” ～高齢者の転倒予防に向けて」 大学準教授：山田拓実 「朝鮮時代の歴史」 1日目 朝鮮時代の国家と社会 2日目 朝鮮時代の外交と国際交流 大学準教授：六反田豊
婦 人 学 級	太鼓教室、料理教室、生花教室等

■八丈島歴史民俗資料館の状況

昭和50年5月に開館。館内には流人文化を中心とした資料が数多く展示され、八丈の人々や流人の生活を雄弁に物語ってくれる資料、昔使われた生活用具や農耕具、漁具、機織具などのほか、先史時代の石器、古文書、伊万里、瀬戸などの陶器類、羅漢像、八丈の伝説をしのばせてくれる為朝の鎧など展示品は約1,500点にのぼります。

THE HACHIJO ISLAND MUSEUM OF HISTORY AND FOLKLORE

Opened in May 1975, the museum's display has reached approximately 1,500 items, with a special emphasis on materials related to the old exile culture. Displays speak eloquently of lifestyles past, and include household utensils, farm tools, and fishing and weaving implements used long ago. In addition, there are prehistoric stone and earthenware items, old documents, Imari and old Seto ceramics, an Buddhist figurine, and the armor of [Minamoto no] Tametomo--all of which serve to bring to life the island's rich folklore.

■八丈島歴史民俗資料館

開 館	1975年5月1日 (昭和50年)		
展 示 品	考古関係	約345点	民俗関係 約1,000点
	歴史関係	約50点	その他 105点
総 数	約1,500点		
入館数(22年度)	12,031人		

■町営バス運行実績 (平成22年度)

走行距離	一般乗合	127,821km (87.5%)
	観光貸切	18,269km (12.5%)
	総 数	146,090km (100%)
輸送人員	一般乗合	96,680人 (83.9%)
	観光貸切	18,514人 (16.1%)
	総 数	115,194人 (100%)
収入金額	一般乗合	15,086,812円 (36.8%)
	観光貸切	25,872,482円 (63.2%)
	総 数	40,959,294円 (100%)

■車両台数 (平成22年度)

種 類	乗車定員	台 数
大型バス	70人乗り	1台
	69人乗り	1台
	57人乗り	1台
	52人乗り	1台
中型バス	59人乗り	1台
	53人乗り	1台
	46人乗り	1台
	42人乗り	1台
	35人乗り	1台
バス車両台数合計		9台

路線数 10系

■観光バス貸切料金 (平成23年度)

	大型バス (34名以上)	中型バス (21~33名)	中型割引 (1~20名)
1周コース	102,680円	90,550円	74,090円
半周コース	58,670円	51,740円	42,340円
送 迎	24,000円	21,170円	21,170円

■八丈島内郵便局の状況 (平成23年4月1日)

集 配 局	三根、中之郷	2局
無 集 配 局	八丈島、榎立、末吉	3局
簡 易 局	三根川向	1局

■自動車台数 (平成23年4月1日)

自動車台数8,288台/人口8,101人	自動車台数8,288台/世帯数4,497世帯
住民1人あたり/1.02台	1世帯あたり/1.84台

車 種	台 数	管 轄
普通車	3,127	八丈支庁
軽自動車	4,311	八丈町
二輪車	126	八丈町
原付自転車	724	八丈町
計	8,288	

■航空貨物取り扱い高

(平成22年1月~12月)

移出	875t	移入	511t
----	------	----	------

■タクシー台数

(平成23年4月1日 現在)

タクシー業者数	15業者	30台
(うち1台で営業している業者)	8業者	
ジャンボタクシー使用業者	5業者	5台
福祉タクシー使用の業者	1業者	1台

■トラック台数

(平成23年4月1日)

総 数	12業者	91台
-----	------	-----

■テレビ放送

NHK三原山サテライト局	S40.12.26開局
民放テレビ放送	S45.11.12開局
テレビ東京放送	S58.11.29開局
東京メトロポリタンテレビジョン	H 7.11. 1開局
八丈デジタル中継局	H21. 3. 3開局
末吉デジタル中継局	H22.11. 1開局
洞輪沢デジタル中継局	H22.11. 1開局

■海上貨物取り扱い高

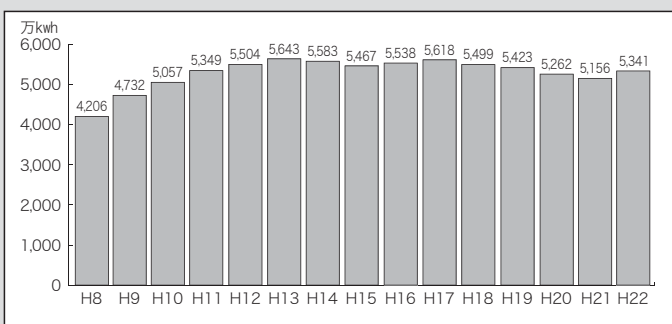
(平成22年1月~12月)

分 類	品 名	移出(t)	移入(t)	
農水産品	米・雑穀・豆	4	421	
	野菜・果物	11	2,103	
	その他農産品	5,139	2,995	
	畜産品	35	2,186	
	水産品	3,310	1,096	
林産品	林産物	255	1,040	
	鉱産物			
	砂利・砂	0	97,142	
	石材	1	1,500	
金属機械工業品	完成自動車	1,771	4,667	
	鋼材	20	0	
	金属製品	0	5,134	
	産業機械	15	13	
	その他機械・部品	377	1,662	
化学工業品	セメント	0	10,139	
	LPG(液化石油ガス)	0	3,560	
	その他窯業品	1	2,365	
	重油	780	11,102	
	石油製品	1	7,089	
	化学肥料	3	828	
	塗料・その他化学	1	170	
	軽工業品	飲料	521	2,556
		製造食品	187	2
		その他・食料工業	4	0
紙・パルプ		1	4	
雑工業品	日用品	28	10	
	他に分類されない木製品	0	3,156	
特殊品	金属くず	3,817	374	
	動植物性製造飼肥	1	414	
	廃棄物	378	0	
	輸送用容器	7,384	5,937	
	再利用資材	0	0	
	取り合わせ品	416	25,800	
	分類不能のもの	5,369	0	
合 計		29,830	193,465	

■電力の状況 (平成22年度)

内燃力発電認可出力	11,100kW
地熱発電認可出力	3,300kW
風力発電認可出力	500kW
日最大電力	10,724kW (8月13日)
燃料A重油 年間消費量 (年平均)	10,511kl (28.8kl/日)
年間発電電力量	5,341万kWh (うち地熱 1,179万kWh) (うち風力 61万kWh)

■発電量の推移



■八丈都市計画区域

昭和47年2月22日付東京都知事に申請
昭和48年1月5日に八丈小島を除く全域を都市計画区域に指定

■横間道路改修工事

通称横間道路（都道215号線の一部）は、為朝神社からトンネル入り口までの延長1,325mです。

この道路は八丈島の坂上地域と坂下地域を結ぶ大動脈であり、島内の経済活動及び、日常生活には欠くことのできない道路です。

昭和56年から総工費約61億円をかけ、地形に合わせて盛土、橋りょう、棧道、洞門の各形式をとりながら本格改修工事に着手しました。13年間の年月をかけ、平成6年4月21日に安全で快適な道路として全線開通しました。

■都道と町道（平成23年4月1日）

区分	都道	町道
延長	54,666m	441,643m
面積	600,065㎡	1,473,039㎡
舗装率	100%	58.3%

■公園と児童遊園地（平成23年4月1日）

施設名	管理者	面積	備考
東京都立八丈植物公園	東京都	224,068㎡	散歩、休息、遊戯、鑑賞
護神山公園	八丈町	12,438㎡	都市計画公園、散歩、休息
底土海浜公園	八丈町	14,720㎡	都市計画公園、散歩、休息
神湊児童遊園地	八丈町	1,447㎡	散歩、休息、遊戯
稲葉児童遊園地	八丈町	2,221㎡	散歩、休息、遊戯
八重根児童遊園地	八丈町	818㎡	散歩、休息、遊戯
大里児童遊園地	八丈町	730㎡	散歩、休息、遊戯
檜立児童遊園地	八丈町	968㎡	散歩、休息、遊戯

■八丈島空港の施設状況（平成23年4月1日）

種別	地方管理空港		基本施設	照明施設				
	滑走路	着陸帯		誘導路	エプロン	ターミナルビル		
供用開始	昭和37年5月1日		延長 2,000m 幅員 45m SIWL 24t (舗装厚 30cm)	延長 2,120m 幅員 150m	延長 85m 幅員 23m	面積 15,300㎡ B737型用3バース	3階建 3975.44㎡ (延床面積)	
政令指定	昭和33年12月25日							
空港の位置	北緯	33°06'54"	進入灯台 2基 進入角指示灯 8基 滑走路末端灯 34基 滑走路末端識別灯 2基 過走帯灯 10基 飛行場灯台 1基 障害灯(中光度) 7基 滑走路中心線灯 67基					
	東経	139°47'09"						
	標高	91.7m						
飛行場用地	総面積	763,241㎡ (場内道路含む)	自家発電機 150kVA 進入路指示灯 9基 滑走路灯 68基 誘導路灯 28基 風向灯 2基 エプロン照明灯 4基 誘導路中心線灯 22基 簡易式進入灯 一式					
	国有地	336,087㎡						
対象機種	エアバス320-200	ポーイング737-500 ポーイング737-700						
	ボーイング737-500							

■港湾施設（平成23年4月1日）

種類	港名	管理者 設立年月日	対象船舶	港湾施設						備考
				岸壁	船客待合所	輸送管設備	夜間荷役照明	船揚場	荷捌用地	
地方港湾	神湊港 (底土港)	東京都 昭和28.3.31	小型船 500t~5,000t	(-6.0~-7.5m) 310m	一棟	一式	一式	1,320㎡	11,270㎡	
	八重根港	東京都 昭和28.3.31	500t~5,000t	(-6.0~-7.5m) 230m	—	—	一式	—	1,399㎡	昭和61年 10月2日 供用開始
避難港	洞輪沢港									昭和29年 7月2日 指定

■都市計画道路

八丈都市計画道路3・4・1号底土・空港・八重根線						
延長	約7,352m	幅員	18m	交通広場	底土	約6,600㎡
					八重根	約5,200㎡
都市計画決定		S54.3.29		延伸決定		H1.3.20
第1期区間			第2期区間			
事業認可	S55.1.16		S61.6.19			
認可区間	空港~倉の坂間 2,062m		倉の坂~底土間 1,690m			
工事完成	S61年度		H11年度			
第3期区間			第4期区間			
事業認可	H1.10.25		H7.3.1			
認可区間	八重根~永郷線 1,960m		永郷線~空港 1,640m			
工事完成	H15年度		H23年度			

■町営住宅の現況 (平成23年4月1日)

地域	団地名	戸数	構造	間取り別戸数内訳		
				1K,1DK,1LDK	2K,2DK,2LDK	3K,3DK,3LDK
三根	群ヶ平	12	簡耐		12	
	中道	52	簡耐・耐火	8	17	27
	群ヶ平第2	16	耐火			16
	富士見	23	耐火	4	11	8
	神湊第3	23	耐火	11	6	6
	桜平	29	耐火	13	8	8
	神湊第1	24	耐火	24		
	新道	12	耐火	2	8	2
大賀郷	屋和川	30	簡耐		20	10
	原山	16	簡耐			16
	八蔵	54	耐火	6		48
	寺山	38	耐火	11	7	20
	八重根	12	耐火	12		
樫立	湯浜	8	簡耐			8
	康政里	2	木造			2
	東六里	6	木造			6
	康政里第2	6	木造			6
	江能里	3	木造			3
中之郷	上浦	8	簡耐			8
	中之郷	15	耐火	5	2	8
	粥倉	2	木造			2
	粥倉第2	2	木造			2
	藍ヶ里	4	木造			4
	尾越	2	木造			2
	尾越第2	4	木造			4
	中里	2	木造			2
	三原	4	木造			4
	三原第2	1	木造			1
藍ヶ江	2	木造			2	
末吉	末吉	8	耐火	2	2	4
	瀬戸	15	耐火	8	2	5
	神子尾	2	木造			2
	道ヶ沢	2	木造			2
	名古	2	木造			2
合計	34団地	441		106	95	240

■消防車両の状況 (平成23年4月1日)

ポンプ車	7台
可搬ポンプ車	3台
照明車	2台
救急車	2台
指揮車	2台

■原因別救急出動件数 (平成22年度)

急病	313件
一般負傷	72件
交通事故	18件
労働災害	7件
水難	6件
加害	2件
運動競技	3件
自損行為	9件
その他	57件
計	487件

■民有家屋などの棟数 (固定資産課税台帳調べ：平成23年1月1日)

()内は1棟当たりの平均床面積 m²

区分	木造	木造以外	総数
個人	4,010棟 (80.5)	1,086棟 (107.5)	5,096棟 (86.3)
法人	143棟 (92.7)	395棟 (240.6)	538棟 (201.3)
合計	4,153棟 (90.0)	1,481棟 (143.0)	5,634棟 (97.3)

■消防団などの状況 (平成23年4月1日)

消防団	229人 (本部1分団・5分団)	消防本部	23人 (職員)
-----	------------------	------	----------

■消防団団員数 (平成23年4月1日)

地区別	区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
総数		1	2	5	5	23	68	125	229
本部		1	2			1	1	11	16
三根				1	1	5	20	40	67
大賀郷				1	1	5	20	28	55
樫立				1	1	4	10	13	29
中之郷				1	1	5	12	25	44
末吉				1	1	3	5	8	18

■消防施設など (平成23年4月1日)

地区別	区分	総数	三根	大賀郷	樫立	中之郷	末吉
防火水槽	40m ² 以上	180	60	58	21	22	19
	40m ² 未満	25	4	14	1	4	2
消火栓		31	10	10	0	11	0
詰所		7	3	1	1	1	1
器具置場		1	0	0	0	0	1

■警察署の概要 (平成23年4月1日)

本署	1箇所(33人)	駐在所	7箇所(7人)	警察職員数	(40人)
----	----------	-----	---------	-------	-------

■少年事案取り扱い件数 (刑法犯のみ)

罪種	平成22年
粗暴犯	0件
窃盗	3件
その他 特別法犯	0件
計	3件

■犯罪件数

年次	凶悪犯	粗暴犯	盗犯	知能犯	その他	総数
平成22年	0	5	23	0	8	36

■平成22年中の交通事故件数

総数	110件
そのうち、飲酒が原因のもの	4件

■普通会計

普通会計決算（純計）（平成22年度）

単位：千円

決算収支の状況	歳入総額 A	9,361,319
	歳出総額 B	8,066,586
	歳入歳出差引額 (A - B) C	1,294,733
	翌年度へ繰越すべき財源 D	1,119,475
	実質収支 (C - D) E	175,258
	単年度収支 F	75,194
	積立金 G	62,000
	繰上償還額 H	0
	積立金取崩額 I	0
	実質単年度収支 (F + G + H - I) J	137,194
指数等	基準財政需要額	3,026,484
	基準財政収入額	1,169,936
	標準財政規模	3,562,926
	財政力指数	0.327
	経常収支比率	76.9%

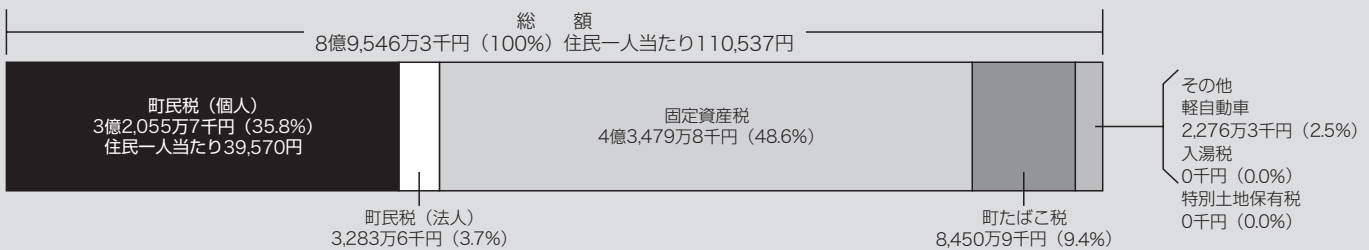
■企業会計決算

（平成22年度）

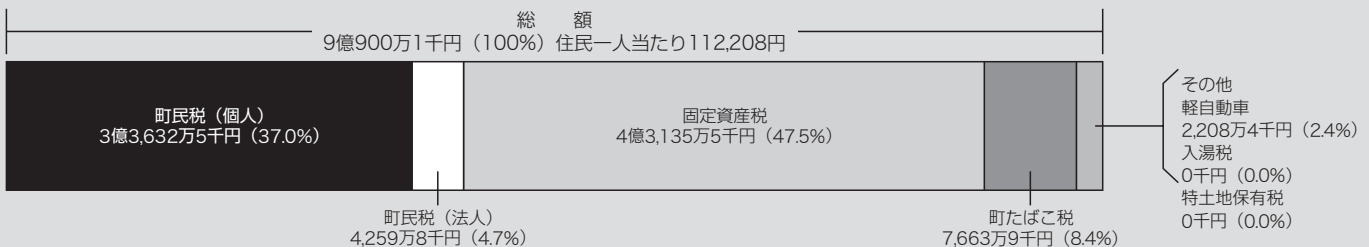
単位：千円

会計別	総収益	総費用	当年度純利益(損失)
水道事業会計	309,369	286,832	22,537
一般旅客自動車運送事業会計	106,448	106,300	148
病院事業会計	1,509,564	1,500,873	8,691

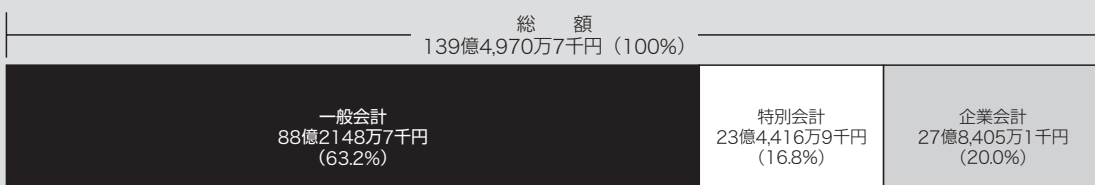
■税目別町税収入見込額（平成23年度）



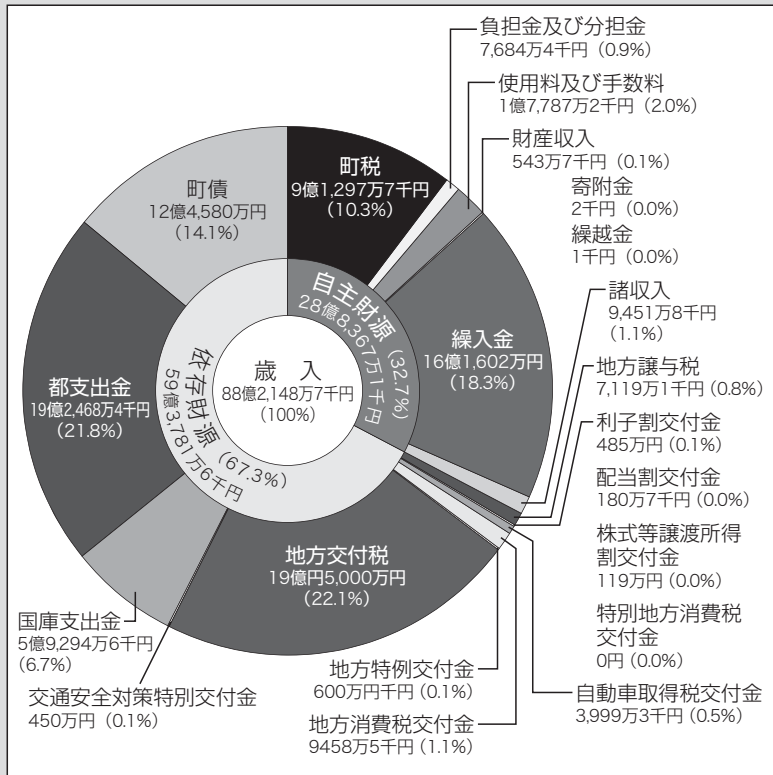
■税目別町税収入決算額（平成22年度）



■平成23年度当初予算



■一般会計歳入予算額（当初予算）（平成23年度）



※%は、少数点2位を四捨五入

■特別会計（当初予算）（平成23年度）

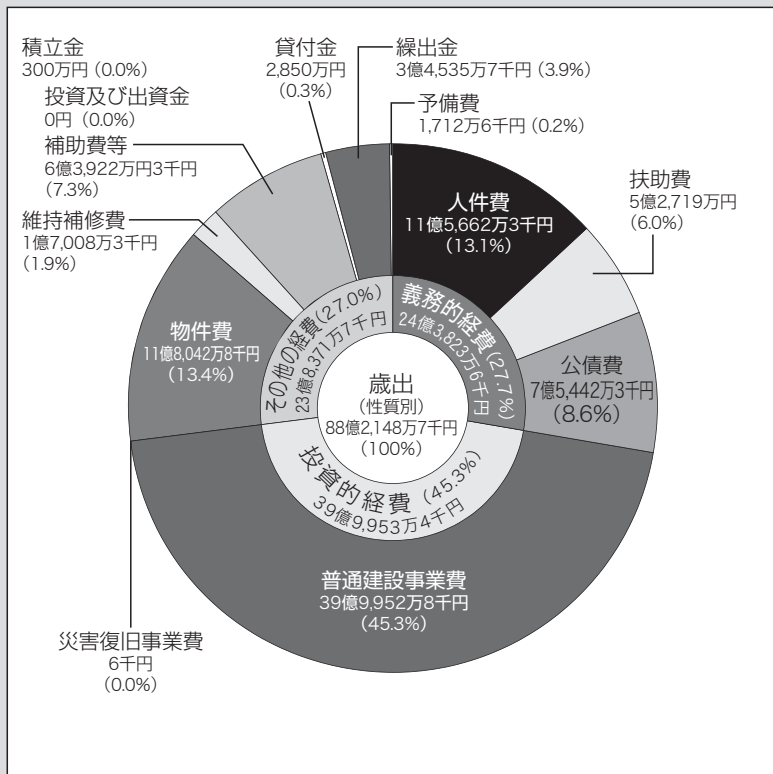
介護保険	8億1,938万8千円
国民健康保険	13億5,660万9千円
用品	335万3千円
後期高齢者医療	1億6,481万9千円

（一部公営企業会計適用）

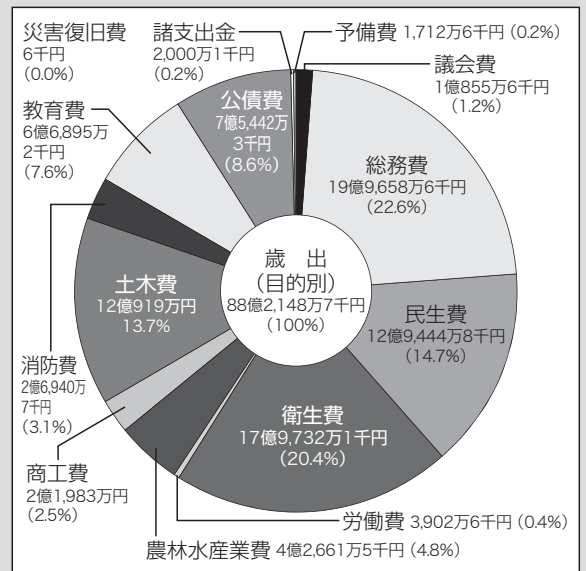
■企業会計予算額（当初予算）（平成23年度）

水道事業	8億1,490万7千円
一般旅客自動車運送事業	1億2,081万2千円
病院事業	18億4,833万2千円

■一般会計歳出予算額（当初予算）（平成23年度）



※%は、少数点2位を四捨五入



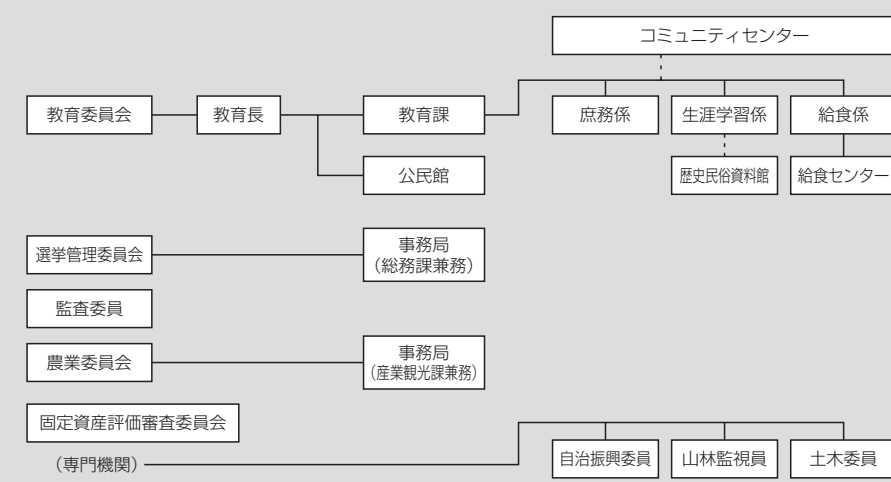
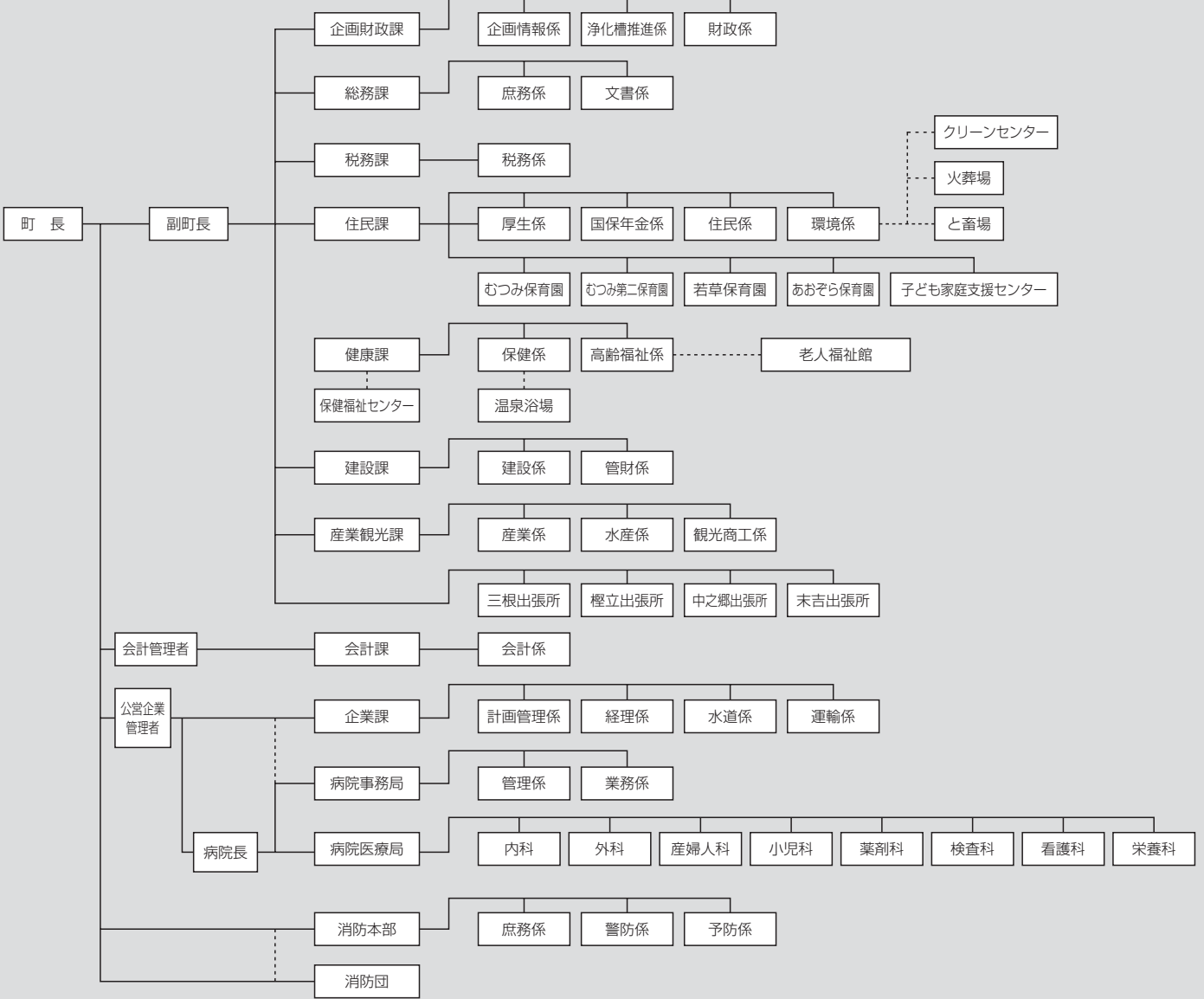
※%は、少数点2位を四捨五入

■八丈町機構図 (平成23年度) 平成23年4月1日現在

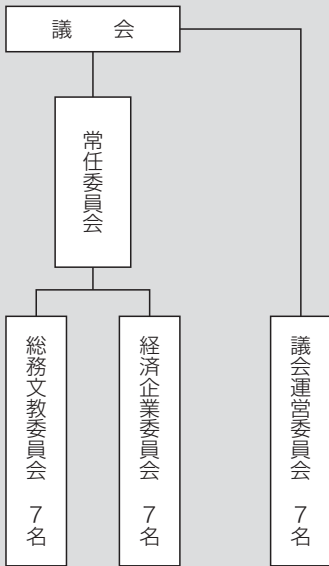
■ 議決機関



■ 執行機関



■議会構成 (平成23年10月1日)



■党派別議員数

党 派	人 数
民 主 党	1
自 由 民 主 党	3
公 明 党	2
無 所 属	7
共 産 党	1
計	14

■町議会会議開催状況 (平成22年)

会 議 名		回 数
本 会 議	定 例 会	4回
	臨 時 会	4回
総務文教委員会 (協議会)		0(1)回
経済企業委員会 (協議会)		0(1)回
議会運営委員会 (協議会)		5(0)回
全 員 協 議 会		3回



歴史のあけぼの

八丈島の古代については、考古学会でも無人島であったとされてきましたが、昭和37年夏、檜立で三原中学校の生徒が磨製石斧を発見したことがきっかけとなって湯浜遺跡の調査が始められました。昭和52年には、倉輪遺跡が発見され、人骨や装飾品なども出土しました。これらの遺跡調査から次のことが明らかになりました。①八丈島には6,500年ほど前には人が住んでいたが、ずっと住み続けていたわけではない。②遺跡の規模、神津島産の黒曜石の矢じり、本土から持ち込まれた縄文式土器、丸木舟を作ったと思われる石器などが出土していることから、人々は島伝いに移って来てまた移り去ったか、あるいは死に絶えた。③水が近くにあり、木の実や山芋、魚・貝・鳥などを入手しやすい場所に住居を構えていた。また、倉輪遺跡時代に犬や猪の骨が多く出土していることから、以前に持ち込んだ猪が増え、狩りをしていただろうとも考えられる。

鎌倉から江戸時代まで

八丈島が本土の支配下に置かれたのは、東鑑によれば鎌倉時代の1186年（文治2年）で相模の国に属したとされています。また、統治機関が置かれたのは、室町時代の1338年（延元3年）、足利氏の執事上杉憲頭が奥山伊賀と菊池治五郎を代官として在島させたのが最初とみられます。1440年（永享12年）に神奈川の領主奥山宗林が支配したが、15世紀の末期、三浦・北条氏の勢力が入って以来、三氏の抗争が続き1515年（永正12年）になって北条氏が勝利を得、全島を支配するに至りました。この権力争いの原因は八丈島特産の貢租「黄八丈」にあったと見られています。その後、1604年（慶長9年）から明治に至るまで徳川幕府の支配下が続きましたがこの間、しばしば天災地変・飢饉・悪疫に襲われており、島民の生活は厳しく、苦しいものでした。また、この265年間に約1,900人の流罪人が流されてきました。

明治以降の八丈島

明治3年に葦山県、同4年に足柄県、同9年静岡県在所管となり、同11年1月11日に東京府に属して以来東京都の今日に及んでいます。明治41年に八丈本島の5ヶ所に島嶼町村制が施行されたが、小島の2ヶ村には施行されず、昭和22年10月の地方自治法施行まで名主制度が続きました。

THE DAWN OF HISTORY

Although archaeological societies considered Hachijo to be an uninhabited island in ancient times, in the summer of 1962, starting with the discovery of a polished stone ax by a student of Mihara Junior High School, a survey of the Yubama ruins began. In 1977, the Kurawa ruins were discovered, and human bones and ornaments were dug up. The following were made clear from these ruins surveys.

① Although people were living in Hachijojima about 6,500 years ago, they did not remain on the island continuously. ② People either came and left by way of the other islands, or they simply passed away. Support for the aforementioned come from the scale of the ruins, obsidian arrowheads that are Kozushima-made, Jomon earthenware from the mainland, and stone implements thought to be used to make canoes. ③ Houses were built in good locations due to the water being nearby and the ease of obtaining things such as fruits, potatoes, fish, shellfish, and birds. Also, it is thought that wild boar, which flourished when brought to the island, was hunted because of the numerous boar and dog bones found at the Kurawa ruins.

FROM THE KAMAKURA PERIOD TO THE EDO ERA

According to the Azumakagami = Hachijojima came under the control of the mainland in 1186, during the Kamakura period (1185-1333), and was classified as a part of Sagami-no-kuni [the present Kanagawa Prefecture]. The first permanent placement of government officials on the island is thought to have occurred in 1338, during the Muromachi period (1336-1573), when Ashikaga vassal Uesugi Noriaki dispatched envoys Okuyama Iga and Kikuchi Jigoro. In 1440, Okuyama Sorin—a major landholder in Kanagawa--controlled Hachijo, but in the latter part of the 15th century the island was enveloped in a three-way struggle for control. Competing with Okuyama were Miura Dosun of Sagami, and Hojo Soun of Odawara. The struggle continued until 1515, when Hojo emerged victorious and brought the entire island under his control. The origin of this rivalry is thought to have been Kihachijo= a silk product unique to Hachijojima and used for payment of taxes. Later, from 1604 to the beginning of the Meiji period (1868-1912), the island was under the jurisdiction of the Tokugawa shogunate. It was during this period that nearly 2000 people were exiled to Hachijojima for various crimes, leading to the island's reputation as an "exile island." It was also during this time that islanders were subjected to a number of natural disasters, famines, and plagues; life on Hachijo was bitter and harsh.

HACHIOJIMA FROM MEIJI ON

In 1869 Hachijo was placed under the jurisdiction of Sagami Prefecture, bringing into being the villages of Mitsune, Okago, Kashitate, Nakanogo, and Sueyoshi on Hachijojima, and those of Utsuki and Toriuchi on Hachijo-Kojima [the islet just off the coast of Hachijojima]. Over the next ten years various prefectures held sway over Hachijojima: Nirayama (1870); Ashigara (1871); Shizuoka (1876); and Tokyo (Jan. 11, 1878), under the jurisdiction of which it has since remained.

The 1908 Islands, Towns, and Villages Ordinance was implemented in the five villages of Hachijojima, but not on Hachijo-Kojima, where the village-head system of government continued until promulgation of the Local Government Act in October 1947.

八丈町の成立

昭和29年10月1日、町村合併促進法により三根、檜立、中之郷、末吉、鳥打の各村が合併して「八丈村」に、翌30年4月1日、八丈、大賀郷、宇津木の各村が合併して「八丈町」が誕生し、今日に及んでいます。

八丈小島の引き揚げ

昭和29、30年の合併により八丈町が誕生しました。このころ小島は、生活条件は向上したものの、その後は過疎化が激しく生活水準の格差も増し、高齢化が進み、開発計画も行き詰まり、住民もついに100名を割ってしまいました。このようななかで全員離島の話が持ちあがり、昭和41年3月全員離島を訴え、八丈町議会に請願書を提出しました。

請願を受けた町議会は、昭和41年6月20日、小島の実情調査を行い、同月22日にこれを採択しました。

請願内容を要約すると、

1. 電話・水道・医療の施設がない。
2. 生活水準格差の増大。
3. 人口過疎の傾向が甚大である。
4. 子弟の教育のあい路。

これにより、昭和44年1月より都の援助で全員が引き揚げ無人島となりました。

離島までの経緯

41年	3月	小島住民全員離島決意、八丈町議会に対し、「移住促進、助成に関する請願書」提出
	6月	八丈町議会「請願」採択
	7月	八丈町議会、小島引き揚げ対策協議会設置
42年	9月	八丈町対都「八丈小島住民の全員離島の実施に伴う八丈町に対する援助」陳情
43年	10月	土地買収価格(在住者坪当たり93円、不在者60円)などについて、住民との協議成立
44年	1月	離島開始
	6月	鳥打小・中学校、宇津木小・中学校廃校全員離島する。 24世帯 人口91人

THE BIRTH OF THE MUNICIPALITY OF HACHIJŌ

On Oct. 1, 1954, under the provisions of the Towns and Villages Amalgamation Act, the villages of Mitsune, Kashitate, Nakanogo, Sueyoshi, and Toriuchi were combined into the Village of Hachijo, which on April 1, 1955 was combined with the villages of Okago and Utsuki to create the present Town of Hachijo.

RELOCATION FROM HACHIJŌ-KOJIMA

Although living conditions on Hachijo-Kojima had improved around the time of the 1954-55 incorporations, the island later suffered from severe depopulation, a decline in the standard of living, an aging population, and deadlocked development plans. Eventually there were fewer than 100 people living on the island, and talk of relocating residents increased. In March 1966 all residents petitioned the Hachijo Town Council for relocation, and on June 20 the council conducted a survey of Hachijo-Kojima; on June 22 the residents' petition was accepted. The petition cited the following factors in requesting relocation:

1. Lack of telephone, water, and medical facilities.
2. An increased disparity in living standards.
3. An increased tendency toward depopulation.
4. The education bottleneck.

Based on the above, in January 1969 all residents were evacuated with assistance from the Tokyo metropolitan government, leaving Hachijo-Kojima deserted.

Steps to relocation

1966	March	Residents opt for relocation, and submit "A Petition Regarding Aid for and Expedition of Relocation" to Hachijo Town Council.
	June	Hachijo Town Council adopts the petition.
	July	Hachijo Town Council establishes the "Kojima Relocation Policy Committee."
1967	September	Hachijo petitions the Tokyo Metropolitan Government regarding "Aid to the Town of Hachijo Coinciding with Implementation of the Relocation of All Residents of Hachijo-Kojima."
1968	October	Creation of residents' conference on land prices, etc. (Land was purchased from residents for ¥28.1/m ² , and from non-residents for ¥18.1/m ² .)
1969	January	Relocation process begins.
	June	Toriuchi and Utsuki elementary and junior high schools closed. All residents leave the island (24 households/91 people).



八重根から見た夕景



横間

東京都八丈町勢要覧
「はちじょう2011」

資料編

平成24年3月 印刷・発行

編集・発行 八丈町企画財政課企画情報係

東京都八丈島八丈町大賀郷2345番地1

電話 049963-2-1121

URL <http://www.town.hachijo.tokyo.jp/>

印刷 シンソー印刷株式会社

東京都新宿区中落合一丁目6番8号

電話 03-3950-7221